



高原の自然館ニュースレター

苜尾電波塔

第 27 号

2006.3.1

高原の自然館

苜尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

も く じ

おしらせ

- 八幡湿原再生協議会委員を公募
- 八幡湿原再生協議会を開催
- アンケートにご協力ください
- 『苜尾 第 15 号』原稿募集

活動報告

- スノートレッキング

観察会案内

- スノートレッキング

お し ら せ

八幡湿原再生協議会委員を公募しています

(2006.2.15)

八幡湿原再生協議会の委員を募集しています。自然再生事業に関する活動に自主的かつ積極的に取り組む意志があり、2006年4月1日現在で満18歳以上、広島県に在住または在勤する方ならどなたでも応募資格があります。

八幡湿原再生協議会が開催されます (2006.3.4)

八幡湿原自然再生事業の協議会が2006年3月4日13:00より北広島町芸北文化ホールで開催されます。一般の方も傍聴できますので、興味のある方はご出席ください。

アンケートにご協力ください (2006.2.1)

西中国山地自然史研究会の会員の皆様には、郵送にてアンケート用紙を送っています。今後の会の活動に役立てるため、ぜひともご協力ください。

『苜尾 第 15 号』の原稿を募集しています

(2006.1.1)

西中国山地自然史研究会の『苜尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600字程度にまとめてください。写真を大歓迎します。あなたの見つけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

活動報告

スノートレッキング

開催日時：2006年2月19日（日）9：30

目的を限定せず「とにかく歩いて、雪の上にいる事を楽しもう」という今回の企画。事務局が一番心配したのがお天気でした。晴れてくれると良いのですが、かんじきの無い人にはツライ。雪の中を歩くのもツライ。雨はお昼ごはんを食べる時にツライ・・・。そんな心配をしながら迎えた当日は、曇りでした。しかも、2日前には降雪があり、前日はしっかり雪が締まっているという、まさにベストコンディション！長靴の人でも難なく歩く事ができました。

今回のコースは自然館を出発して、千町原を見渡せる高台～千町原湿原～苅尾が見えるススキ草地、というコースです。普段は歩けない湿原の上を歩いたり、低木がすっかり埋まっている森の中に入ったりして、トレッキングを楽しみました。上野さんにはカワゲラのこと、動物のことなど、いろいろなこととお話いただきました。

お昼ごはんは苅尾の登山口付近で摂ったのですが、風もなく、ゆっくりすることができました。スノーシューをはじめ、クロスカントリースキー、山スキー、ワカンなど、お互いの装備を見ながら使い勝手を話し合い、さながら雪遊び道具の展示会のような雰囲気になりました。

今回のスノートレッキングでは、もう一つの遊びを用意していました。それは、雪の上の句会です。紙とペンを配ると、みなさん「え～っ」という反応でしたが、なんのなんの。最後の詠み合いで披露されたのは個性豊かな作品ばかりでした。

風も無く、帰りの途上も動物の痕跡や植物を観察しながら帰り、全員無事に帰り着きました。[し]



早速テンの足跡発見。同じ所を往復していた。



もう、木のまわりでは雪が溶けはじめて春の気配だ。



思い思いに千町原を歩く。



雪で折れたアカマツの枝.



俳句の披露. 誰の作品かは言わずに,
他の人の俳句を詠んだ.



スケールを当てて写真撮影. 撮って
いたのはヤドリギを食べた鳥のフ
ン.



夏にはクマイチゴの藪も, こんなに
広がって歩けた.



林の中も見通しが良い. ただ, 長靴
では埋まって歩きにくかった.



この峠を越えれば自然館.

活動報告

スノートレッキングで詠まれた俳句を紹介します。
どれも名作ですね。え？迷作もありますか？

雪の上 無敵のカワゲラ 主役顔
ヤマナラシ ひっそり山陰 増殖中
雪原で ラーメン食べる 新人類？
まださむい 雪原なのに 春いぶく
雪原で 集う笑顔に 福来たる！
温暖化 八幡高原 ゆくすえは
説明を 聞いて数える 指の数
説明を 聞くまで同じ 指の数
雪上では うんちまでもが めずらしく
ラーメンの 湯気のむこうに 樹氷かな
雪原で みながり出す マイカメラ
雪の上 タヌキにテンに ヒトの足跡^{あと}
二日酔い 雪山見たら なおったよ
雪の里 テンの足跡 いやしの日
山スキー 慣れた頃に 会終了
虫たちも スノトレしてる 雪の原
雪上の 足跡語る 物語
雪面に 足跡たどる けもの道
雪原で 苜尾ながめて ランチとる
白雪に 色とりどりの 探検隊
草刈りの あとがのぞいて 春見えた

通勤のために家を出ると、道端に霜柱を見る朝が多くなりました。そうしてふと思いついたのですが、八幡では霜柱は「春」のものなんです。冬の間は一面が雪に覆われているので、霜柱どころか土を見る事がありません。九州では、冷え込んだ冬の日の象徴だった霜柱が、ここでは暖かくなったことを示すものだど気付いた時には、不思議な感覚になりました。目に映る自然の現象からこの土地の季節感を感じとるには、まだまだ時が必要なようです。

観察会案内

スノートレッキング

開催日時：2006年3月12日（日）9：30から
集合場所：高原の自然館
準備：長靴、(あれば)かんじき、弁当、ルーペ、メモ、おやつ等
参加料：300円（自然史研究会会員は100円）

雪の上を歩いてみませんか？今回は「ただ雪の上を歩いてみよう」という企画です。雪の原をみんなで歩けば、いろいろなものが見えてくるはずです。スノーシューで、クロスカントリースキーで、一緒に歩いてみませんか？

スノーシューのレンタルや民宿等、ご相談下さい。

－ インターネット版のご紹介－

苜尾電波塔はe-mailでも発行されています。また、高原の自然館ホームページからはpdfファイルをダウンロードできます。インターネットを利用すれば、関連ホームページにジャンプしたり、写真をカラーで見られたりと、便利です。

高原の自然館では、紙資源の節約と事務処理の軽減のため、インターネットの利用をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館 (こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/> staff@shizenkan.info
冬季連絡先 : 0826-35-0070 (芸北文化ホール)